

# 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

【義務教育課】

## 1 教科に関する調査結果概要

| 小学校6年生 |      |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|
|        | 国語   |      | 算数   |      | 理科   |
|        | A    | B    | A    | B    |      |
| 全国     | 70.0 | 65.4 | 75.2 | 45.0 | 60.8 |
| 熊本県    | 70.2 | 64.0 | 75.5 | 45.6 | 62.6 |

  

| 中学校3年生 |      |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|
|        | 国語   |      | 数学   |      | 理科   |
|        | A    | B    | A    | B    |      |
| 全国     | 75.8 | 65.8 | 64.4 | 41.6 | 53.0 |
| 熊本県    | 75.2 | 66.2 | 64.0 | 41.6 | 54.4 |

- 教科に関する本県の概要は、全体的に全国平均をやや上回る状況にあります。
- 小学校では、国語 A、算数 A・B 及び理科が全国平均を上回っていますが、国語 B は全国平均を下回っています。
- 中学校では、国語 B、理科が全国平均を上回っていますが、国語 A、数学 A は全国平均を下回っており、数学 B は全国平均と同じです。

## 2 児童生徒質問紙調査の結果概要

- 全国平均に比べて高い項目
  - ・授業で目標やねらいが示されていたと思う
  - ・休みの日の家庭学習時間
- 全国平均に比べて低い項目
  - ・友達の前で自分の考えを発表することは得意
  - ・自分で計画を立てて勉強する

改善に向けて



- ◎ 学習目標をもとに、学習内容を整理し、学んだことを確認する活動を実践に行いましょう。
- ◎ 自分の考えや意見等を積極的に発表できるよう、グループでの話し合いや自分で調べたことを発表させる場を授業の中に取り入れていきましょう。
- ◎ 学校全体で家庭学習の課題の与え方などについて共通理解を図りましょう。
- ◎ 全校一斉読書や読書週間の設定、地域人材を活用した読み聞かせなどを通して、自主的に読書活動に取り組む態度を高くみましょう。
- ◎ 調査結果を積極的に活用し、校内研修や授業研究会等を通して、課題の解決に向けた授業実践の一層の推進を図りましょう。

## 3 学校質問紙調査の結果概要

- 全国平均に比べて高い項目
  - ・授業研究を伴う校内研修の実施回数
  - ・保護者や地域住民の教育活動への参加
- 全国平均に比べて低い項目
  - ・「朝の読書」などの一斉読書の時間の設定
  - ・学級やグループでの話し合いなどの活動

## 4 今後の取組

**全小中学校を対象に、研修会を実施します**

- 熊本の教育推進会議：校長対象  
県全体の課題や、学力向上に向けた好事例をもとに、学校総体となった取組について説明
- 学力向上リーダー研修：教務主任等対象  
本県独自の分析支援ツールを使った各学校の課題をもとに、国の報告書を使った分析と課題克服のための各学校の取組を明確にする研修

**課題解決のための授業改善方策を示します**

- 「国語指導の手引き」の作成、配付
- 国語担当者を対象とした研修会の実施

**補充学習を支援します**

- 全国学力・学習状況調査過去問題（単元別・領域別）及び県学力調査過去問題の県教育委員会ホームページへのアップ

児童生徒の学力向上のために

**アドバイザー・指導主事を派遣します**

- 学力向上アドバイザーの派遣（3管内）
- 義務教育課及び教育事務所指導主事の派遣（学校の課題に応じた支援を行います）

**好事例を発信します**

- 学力向上に向けた取組事例の紹介（授業の振り返りとまとめ・補充問題の活用・家庭学習の在り方等）

**県学力調査を実施します**

- 課題の改善状況の調査（12月上旬）
- 課題克服に向けた補充問題の提供（2月下旬）
- 検証改善サイクルのチェックリストの作成・配付

※ 熊本県教育委員会ホームページに詳しい内容を掲載しています。